

# 階別・方向別 耐震診断結果 (平成18年4月1日～平成18年11月30日/木耐協調べ)

平成18年4月1日から平成18年11月30日まで（8ヶ月）に木耐協で実施した耐震診断2,364件の耐震診断結果について、各階の方向別評点の中で総合評点として反映されている階及び方向について、分析しました。

参考：旧耐震診断法では、1階X軸とY軸のいずれか低い評点を総合評点を求める計算式に利用していました。新耐震診断法では、2階のX軸とY軸の評点も求め、1階X軸・Y軸/2階X軸・Y軸の4つの評点から最も低い数値を総合評点として反映させるようになりました。

## ■ 総合評点として反映されている階及び方向

	総合評点として採用されている数					
	全体		昭和56年5月以前		昭和56年6月以降	
1階X軸 評点	819	34.64%	267	32.05%	552	36.05%
1階Y軸 評点	455	19.25%	143	17.17%	312	20.38%
2階X軸 評点	606	25.63%	227	27.25%	379	24.76%
2階Y軸 評点	484	20.47%	196	23.53%	288	18.81%
総数	2364		833		1531	

## ■ 約半数の住宅で2階の評点が総合評点として採用されている

新耐震診断では各階・各方向の評点を求め、最も低い数字を総合評点として採用します。上表のとおり、2階の評点によって総合評点が決まっている住宅が46.10%と約半数を占めていることがわかります。1階部分の評点のみで評価を行っていた旧耐震診断と違い、1階部分の評点が1.0を超えるような補強を行っても、総合評点が1.0を超えないという結果になります。

## ■ 1階 方向別評点

1階X軸 評点								
			全体		昭和56年5月以前		昭和56年6月以降	
1.5 以上	倒壊しない		167	7.06%	19	2.28%	148	9.67%
1.0 以上	1.5 未満	一応倒壊しない	566	23.94%	116	13.93%	450	29.39%
0.7 以上	1.0 未満	倒壊する可能性がある	764	32.32%	276	33.13%	488	31.87%
0.7 未満	倒壊する可能性が高い		867	36.68%	422	50.66%	445	29.07%
総数			2364		833		1531	

1階Y軸 評点								
			全体		昭和56年5月以前		昭和56年6月以降	
1.5 以上	倒壊しない		236	9.98%	34	4.08%	202	13.19%
1.0 以上	1.5 未満	一応倒壊しない	742	31.39%	192	23.05%	550	35.92%
0.7 以上	1.0 未満	倒壊する可能性がある	766	32.40%	293	35.17%	473	30.89%
0.7 未満	倒壊する可能性が高い		620	26.23%	314	37.70%	306	19.99%
総数			2364		833		1531	

## ■ 2階 方向別評点

2階X軸 評点								
			全体		昭和56年5月以前		昭和56年6月以降	
1.5 以上	倒壊しない		347	14.68%	27	3.24%	320	20.90%
1.0 以上	1.5 未満	一応倒壊しない	434	18.36%	119	14.29%	315	20.57%
0.7 以上	1.0 未満	倒壊する可能性がある	586	24.79%	212	25.45%	374	24.43%
0.7 未満	倒壊する可能性が高い		886	37.48%	419	50.30%	467	30.50%
0(平屋)			111	4.70%	56	6.72%	55	3.59%
総数			2364		833		1531	

2階Y軸 評点								
			全体		昭和56年5月以前		昭和56年6月以降	
1.5 以上	倒壊しない		356	15.06%	36	4.32%	320	20.90%
1.0 以上	1.5 未満	一応倒壊しない	425	17.98%	110	13.21%	315	20.57%
0.7 以上	1.0 未満	倒壊する可能性がある	611	25.85%	237	28.45%	374	24.43%
0.7 未満	倒壊する可能性が高い		861	36.42%	394	47.30%	467	30.50%
0(平屋)			111	4.70%	56	6.72%	55	3.59%
総数			2364		833		1531	

## ■ 1階X軸の約7割は評点1.0を下回る

階別・方向別の評点をより細かく見ると、耐震性に不安があると判断される住宅（評点1.0未満）は、1階X軸で69.00%、1階Y軸で58.63%、2階X軸で62.27%、2階Y軸も62.27%という結果になっております。

1階・2階で大きな差は見られませんでした。前述の「総合評点として反映されている階及び方向」の表にあるとおり、最も多く総合評点に反映されている1階X軸の1.0未満の割合が69.00%と最も多くなっています。

また、Y軸については、1階よりも2階の方が評点が悪い事がわかります。

## ■ 約6割の住宅は、2階の補強が必要になる

62.27%の住宅で2階の評点が1.0を下回っており、これらの住宅の総合評点を1.0以上に補強する為には、1階部分の耐震補強だけでなく2階の補強も必要となります。

後述のアンケートにもあるとおり、耐震補強を行わない大きな要因のひとつとして「経済的な理由」が挙げられています。約7割の住宅で1階だけでなく2階の補強も必要となると、補強費用も上がってしまう為、耐震補強普及における大きな課題となることが考えられます。